

平成28年度 事業報告

産業クラスター研究会オホーツク

麻プロジェクトリーダー 舟山 秀太郎

【麻プロジェクト】

日 程	内 容	場 所
5月28日 ～ 6月3日	○北海道産業用大麻協会主催 「オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアー」 ● 進藤幹事が参加	オランダ・ドイツ
10月13日	○はまなす財団 地域づくりシンポジウム2016 ● 舟山リーダーが参加	札幌市
10月24日	○第6回北海道産業用大麻可能性検討会 ● 事務局が参加	札幌市
2月20日	○第7回北海道産業用大麻可能性検討会 ● 舟山リーダー、及び事務局が出席 麻プロジェクトの今までと今後の取組みについて報告	札幌市
3月23日	○麻シンポジウム研究会 ● ヘンプボード試作製品の報告と商品化の可能性について 講師 (株)イワクラ 管理部 技術開発室 室長代理 清原 征裕 氏 ● ヘンプ産業先進地視察 (オランダ・フランス) 報告 進藤幹事 ● 北海道産業用大麻可能性検討会の動きについて 北海道農政部 農産振興課 佐々木主幹	北見市



【オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアー】

- 北海道産業用大麻協会が主催する、オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアーに、先進地区の動向調査を目的として、麻プロジェクトメンバーである進藤幹事が参加した。



【麻シンポジウム研究会】

- 28年度については、麻プロジェクトの事業として、プロジェクトメンバーの海外先進事例視察・おがらを原料とした建築用資材としてのボードの試作などを実施した。
- ボード試作について一定程度の結果が見えたことから、委託先の(株)イワクラより技術担当者を招聘の上、プロジェクト関係者を参集範囲とし、今年3月に事業報告を兼ねた報告会を開催した。

【イソップコリドール】

① 農業クラウド基盤構築事業

「地域バイオマスの農業資材化技術開発と圃場マネジメントの高度化」推進

② 地域融合フォーラム テーマ：農業情報の今日的利活用の提案

日時 平成29年1月31日(火) 場所 ホテル黒部 参加 134名

内容

農業における情報の生成とその利活用紹介

ドローンや自動操舵より生成されるデータの活用事例等

生体メカトロニクスの精密農業技術への応用

振動制御による精密な葉面散布などの実現に向けた研究紹介

大豆の新しい食べ方紹介

大豆フードクラスター開発商品群の試食会



③ 付加価値フードクラスター構築事業

大豆μフーズと高オレイン酸ひまわり油脂を核に植物由来の発酵バターを試作研究開発。
ひまわり生産は台風の被害大により油脂製品は150キロ。

④ 旧サロマトネルの有効活用調査研究

事業化へ向けた調査を継続実施してきたが、民間への譲渡につき超えることのできな
い課題あり。これまでのアプローチでの調査研究は終了する。

上記①②の事業を通して【持続可能な農業に資する新しい枠組みの提供】体制が整った。(次ページ参照)

持続可能な農業に資する新しい枠組みの提供 ～アプリケーションの集約による農業クラウドサービス～

ソフトウェアシステム開発
インターネットプロバイダー



スマート農業に寄り添うICTセンター

WEB-GIS環境保全型農業の形成による
営農マネジメントの高付加価値化

大産を特別にする
事業の研究開発



● 土壌診断地図設計



● 圃場管理



● 可変施肥



● 精密農業実装



● 圃場管理



● 圃場分析



● 付加価値提供



● トータルコードシステム



GISマップの生成による
圃場マネジメントの高度化



現場データ集約

オホーツクWEBによるデータ蓄積・分析・解析・翻訳
テクノロジー開発



現場へフィードバック

安心・安全・生産性に資する営農システムの実装〈付加価値基盤形成〉

圃場計画



圃場センシング



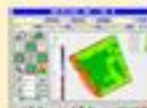
圃場データ集約



生育センシング



可変施肥



土壌作物分析



センシング収穫



圃場の力を高める
物質循環事業

有機質・微生物
利用実証実験



センシング・圃場実装
圃場実装実証実験



● G-PAD

圃場の作業効率を向上させ、作業負担を軽減するためのソリューションを提供します。



● 可変施肥システム

圃場の作業効率を向上させ、作業負担を軽減するためのソリューションを提供します。



営農マネジメント
の高度化事業
センシング技術
の高度利用



● 自動操舵システム



● 収量センサー搭載ロボットコンバイン



● 草機異種接続サービス



RTK/GPS
自動操舵



傾斜センサー
検出センサー



収量センサー
水分センサー



【テレワーク】

◆地域活性化におけるテレワークの普及啓発

・オホーツクにおける地域活性化のための「テレワーク」を推進すべく、普及啓発活動を中心に実施した。

28年度 テレワーク事業実施報告書

北見地域の特性を活かしたテレワークプロモーション活動

東京都内の企業を中心に訪問し、北見市ふるさとテレワークについてのPR活動を実施

- ・ 日本航空
- ・ 富士通
- ・ 東急電鉄
- ・ 住友生命
- ・ ワークライフバランス など約10社

プロモーション活動の成果

- ・ 新日鉄システムソリューションズ様 10名様ご一行の視察が決定
- ・ 7月13日 北見市
- ・ 7月14-15日 斜里

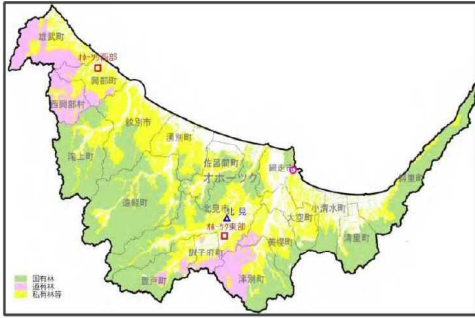


オホーツク林産物の利用形態

平成29年3月

産業クラスター研究会オホーツク 幹事 有田敏彦
委託元：産業クラスター研究会オホーツク
(委託調査実施機関 企業組合 北見産学医協働センター)

【オホーツク管内 森林の分布】



林業の担い手

【オホーツク林業 常用労働者の年齢構成】



林産業

【製材生産量】

年度	市町村			道有林			私有林			合計		
	計	製材	伐木	計	製材	伐木	計	製材	伐木	計	製材	伐木
平成23年度	60,672	1,316	61,988	587,638	31,109	618,738	648,310	32,417	680,727	1,254,080	1,874,825	1,874,825
対前年比	69.2%	84.1%	66.7%	84.3%	83.1%	84.3%	91.7%	92.8%	91.7%	79.2%	84.1%	84.1%
対前々年比	57.2%	2.707	59.97%	591.0%	32.99%	623.68%	648.38%	35.30%	683.65%	57.2%	69.2%	69.2%

林産事業との関わり

森林資源の循環利用と林業・木材産業などの地域産業を再生させることを目的に、オホーツク地域の木材を活用する取組が進められている。

【平成24年1月】

関係者が集まり「津別町森林バイオマス利用推進協議会」が立ち上げられ、地域の特性に応じた熱電利用を促進するため地産未利用材の収集や燃焼試験等を行い、目指すべき指針として「津別町森林バイオマス熱電利用構想」を策定。

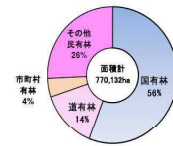
また、津別町単板協同組合(津別町)の木質バイオマス発電施設が平成25年3月に開業。再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)に基づく施設として認定され、熱に加え発電利用も活発化している。

【平成25年6月】

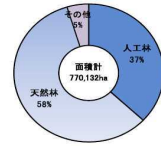
管内全市町村で推進方針が策定され、森林整備加速化・林業再生事業等を活用して8市町村、17施設(H25予定含む)の木造・木質化が木造公共施設等整備として実施。

オホーツクの森林状況

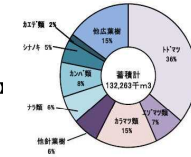
【所管別森林面積】



【林種別森林面積】

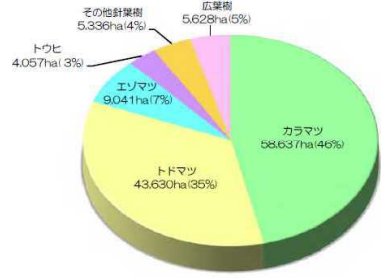


【樹種別森林蓄積】



資料：「平成24年度北海道林業統計」

人工林の樹種別面積



【管内森林組合の現況】

(資料：森林組合現況調査一覧 H23年度)

組合名	管轄地域	組合員数	組合加入森林面積	加入率
清里町森林組合	清里町	84人	694ha	53.8%
美幌町森林組合	美幌町、津別町、大空町、北見市	526人	9,748ha	74.1%
佐呂間町森林組合	佐呂間町、北見市、津別町、遠軽町、紋別市	578人	6,208ha	79.8%
滝上町森林組合	滝上町、奥部町、西興部村、雄武町、紋別市	307人	6,184ha	77.5%
雄武町森林組合	雄武町	313人	9,225ha	65.9%
北見広域森林組合	北見市、訓子府町、雁戸町、佐呂間町、遠軽町、網走市、美幌町、大空町、津別町	2,188人	28,558ha	66.9%
新世荘森林組合	雁戸町、訓子府町、北見市	697人	10,051ha	87.5%
オホーツク中央森林組合	紋別市、滝上町、奥部町、雄武町、西興部村、津別町	902人	23,902ha	59.7%
遠軽地区森林組合	遠軽町、津別町	1,233人	28,702ha	71.8%
網走地区森林組合	網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町、美幌町、北見市	1,547人	24,180ha	77.8%

【原木消費量】

(単位: m³)

年度	製材用		木材チップ用		合算消費		その他		合計						
	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比					
平成24年度	462,756	12.52%	475,281	235,189	118,061	353,250	286,751	15,501	314,252	6,316	5,402	12,218	1,903,022	151,979	1,851,043
対前年比	95.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%
平成22年度	484,834	6,013	500,947	249,960	90,539	339,499	306,673	12,823	319,596	7,249	4,383	11,628	1,651,812	113,855	1,765,667
対前々年比	93.5%	208.3%	94.9%	94.5%	130.4%	104.1%	97.4%	119.8%	88.3%	87.2%	134.7%	105.1%	94.8%	133.5%	88.8%

【製材工場実績】

(単位: m³)

年度	製品生産量			製品出荷量		
	カラマツ以外	カラマツ	計	カラマツ以外	カラマツ	合計
平成24年度	96,612	124,779	221,391	97,267	20,287	122,907
対前年比	95.8%	90.8%	92.8%	96.1%	86.1%	92.8%
平成22年度	103,284	133,188	236,472	106,518	23,510	132,490
対前々年比	93.5%	93.7%	93.6%	91.3%	86.3%	92.8%

【合算工場実績】

(単位: m³)

年度	生産量(千m³・実平方)				出荷量(千m³・実平方)				出荷額(百万円)			
	単板	ラワン	ラワン	計	単板	ラワン	ラワン	計	単板	ラワン	ラワン	計
平成24年度	60,270	40	15,371	60,302	0	39	0	4,296	11,610	8,277	7,242	15,613
対前年比	62,056	19	15,183	62,087	0	22	0	4,416	10,545	9,118	7,314	15,432
対前々年比	97.1%	221.1%	101.2%	97.1%	-	177.3%	-	103.9%	110.1%	90.8%	100.4%	95.1%
対前々年比	60,128	28	14,466	59,963	0	139.5%	0	5,563	9,747	8,254	6,101	14,355
対前々年比	100.2%	150.0%	106.5%	100.6%	-	28.0%	-	86.2%	119.1%	100.3%	120.3%	109.6%

まとめ

経営改善を支援していくとともに長期的な視点に立った森林整備計画を策定する必要がある。

地域材の利用促進に関しては森林所有者、製材業者、建設業者の連携を強化し、地域材の製品情報や有用性の情報提供も必要

